

予算・決算審査調査分析表

方式 項目	分科会方式 (所管常任委員会単位)	13 名程度の特別委員会方式 (その都度選任)	役選時にグループ分けする方式	予算・決算審査を連動させた 2 グループ方式
審査方式	予算は議長を除く全議員、決算は議長、監査委員を除く全議員をメンバーとする特別委員会を設置し、その下に常任委員会を単位とする分科会を設置し審査を行う。	特別委員会設置ごとに特別委員会のメンバーを決め、すべての事業について審査を行う。	12 月の役選時に、予算を審査するグループ、決算を審査するグループに分け、それぞれのグループがすべての事業について審査する。全議員がいずれかの特別委員会に所属する。	改選後、議長、監査委員を除く全議員を A B 2 つのグループに分け、それぞれのグループが交互に決算・予算特別委員会委員になる。
審査範囲	×所管の常任委員会の範囲に限られる。(辻、宿) ● 審査範囲を拡大するという意味から、2 つの分科会に移行することについては検討の余地がある。(鈴木)	○特別委員会の委員に選任されれば、予算あるいは決算のすべての項目について議論ができる。 (辻)	○役員選挙時に振り分けることで、議員個人として、予算・決算のいずれかですべての項目について議論ができる。(辻)	○年度ごとに予算・決算審査の委員が変わり、委員となればすべての項目について議論ができる。
参加議員	○監査委員（決算特別委員会のみ）、議長以外の全議員が参加。 (鈴木、浜口)	×以前のドント式を採用するとすれば、一人会派の議員は参加できない。(鈴木、辻) ● 大きい会派は、同じ人が両方に参加することになることが懸念される。(辻) ×分科会方式のように、全員が参加できるわけではない。(鈴木)	○議長を除く全て議員がいずれかの特別委員会に入るため、1 年に 1 回は全体の議論ができる。	× 1 年ごとに半数の議員が、決算、予算を審査することになり、4 年間毎回ほぼ同じ委員構成となる。

所属希望	12月の各派代表者会議において常任委員会委員を決めることで、その分科会委員になる。	3月、9月定例会中の各派代表者会議においてその都度選出する。会派での希望で決める。	12月の各派代表者会議において3月の予算審査、9月の決算審査をするグループ・委員を決める。	9月定例会中の各派代表者会議でA Bグループを決定。一度決めると、4年間同じメンバー・グループとなる。 R7 R8 R9 R10 A：予算 決算 予算 決算 B：決算 予算 決算 予算
議論度	○専門的、効果的審査が可能（鈴木、西山） ×所管の委員会で普段から議論をしているため、深まりに欠ける。（辻） ×分科会の委員が常任委員会と同じであるため、偏りができてしまい、専門的な議論ができるかについては疑問がある。（楠木）	○13人での議論のため、様々な角度からの議論ができ、普段の委員会での議論より深い議論が期待できる。（辻） ○議員の半数以上の構成となるため、審査項目がほぼ網羅される。（辻）	○24人議員定数から言えば、11人もしくは12人の構成になるので審査項目が網羅される。（辻）	×予算審査、決算審査ともに同じ委員での議論となり、議論の深まりに欠け、議論の角度が固定化されてしまう。（辻）
視野幅	×常任委員会の委員と同じ委員となるため、常任委員会での議論から出ることではなく、別角度からの議論ができない。（辻）	○様々な議員の議論を共にするため、経験の浅い議員にとっては議論の仕方なども含め、参考になり、視野が広がる。（辻） ○すべての項目について審議できることは、議員の成長、視野を広げることには有効である。（楠木）	○様々な議員の議論を共にするため、経験の浅い議員にとっては議論の仕方なども含め、参考になり、視野が広がる。 ○すべての項目について審議できることは、議員の成長、視野を広げることには有効である。（楠木）	○すべての項目について審議できることは、議員の成長、視野を広げることには有効である。（楠木） ×固定された委員構成のため、視野の広がりとしては、13名程度の特別委員会方式、役選時にグループ分けする方式に比べ、議論の視野は広がらない。

民意反映	×議員個人から考えると民意は幅広く、常任委員会レベルだけでは民意の反映は難しい。	○民意の反映は、全項目を審査する議員が多ければ多いほど反映されやすい。	○民意の反映は、全項目を審査する議員が多ければ多いほど反映されやすい。	○民意の反映は、全項目を審査する議員が多ければ多いほど反映されやすい。
その他	×議員は自身の常任委員会の所管に関係する人だけと関わるわけでないため、全員が常任委員会の所管と関係なく参加できる形態が必要ではないか。(楠木) ×常任委員会で専門性を発揮できるため、予算・決算審査では分科会方式は必要がない。(宿) ×以前の13名程度の特別委員会方式と比べると期待していた専門性を感じられない。(宿)			

- ※ ○ 利点、メリット
× 欠点、デメリット
● その他の意見